

2011年5月24日 自治大学校 「図解表現演習」 アンケート

図解があれば、相手が納得してくれる確率が上がることがわかりました。各部分同士の関係を表すのは、まず自分がしっかり理解することから始まるのが良くわかりました。

私の仕事を図解することで、自分が混乱していることが分かった。大変有意義な時間でした。視点を広く足を固めるということに留意していきたいと思えます。

特に地元説明会を開催する機会が多いため、図解を最大限活用し、住民に分かりやすく工夫します。

改めて住民との関係が見えてきました。住民サイトから見たときに何が大切なのかの視点から、事業の優先順位をつけられるようになるのではと感じました。

項目同士の体系が大事だということに気付かされました。ややこしくなることは、図解で表現してみます。

図の重要性をあらためて実感した。作った図をバージョンアップして、系の引き継ぎ資料に使えるようにしたいと思います。

立体的に物事を見ることができ、非常に理解しやすくなることを実感した。

良い体験でした。これからは全体を見渡せる職員でありたいと思えます。「鳥の目」で仕事を人生を楽しみたいと思えます。

図解表現の持つ力を知ることができました。広い視野で全体が見える職員になれるよう努力したいと思います。

政策関係の仕事だが、市民もひとくりにせず、属性毎に分けて図解していけば分かりやすくなるのではと思えます。

図解は、自分を客観的に見ることができるといことが判りました。

「私の仕事」の図解は、自分の仕事の内容と併せて、市役所以外、最終的には、住民につながり、相互関係を常に認識しておくことの大切さに気付かされました。

いかに理解が浅いか。広い視野が足りないか分かった。今後活かすことが出来ればと思う。

自分の仕事を図にすることで、違った視点で捉えることができました。

職場でも各種資料に図解を取り入れてみます。

仕事の重要性、つながりを改めて認識できました。

私の仕事について、整理できていない部分がありました。どういう人と調整していくべきか？について意識することが必要だと感じました。

今日の図解の研修はとても役立ちました。言葉で表現できないものを図で表現するテクニックは素晴らしいと思った。今後の自分の仕事のあり方、方針が見えた様な気がします。鳥の目で仕事をしていきたいと思えます。

自分を見つめ直すいい機会になりました。これからはメモを取るときに簡単な図を書いていきたいです。

自分を取り巻く環境が整理出来ていないことを、はっきり分かりました。「目からウロコが落ち」ました！

図解表現することが物事を深く考えることにつながると実感しました。